

# 国語科学習指導案

指導者 吉友 優葉

1 日時 令和5年10月20日(金)第5校時

2 学年 第5学年2組 31名

3 単元名 立場や意図を明確にして話し合おう～5C達成に向けて、今自分たちにできること～  
「よりよい学校生活のために」(光村図書5年)

## 4 単元目標

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。  
(知識及び技能(2)イ)
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。  
(思考力・判断力・表現力A(1)オ)
- 学習の見通しをもち、話し合いを通して考えを広げたりまとめたりする活動に、主体的に取り組むことができる。  
(学びに向かう力、人間性等)

## 5 単元について

### (1) 教材について

本単元は、小学校学習指導要領の国語科第5学年、第6学年の〔A話すこと・聞くこと〕の指導事項「オ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること」を受けて設定した。そこで、言語活動例〔ウ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動〕を具体化した「立場や意図を明確にして話し合おう～5C達成に向けて、今自分たちにできること～」という言語活動を位置付ける。

本単元では、議題に対する自分の意見を明確にした上で、相手の意見を踏まえ、考えを広げたりまとめたりする活動が主となる。話し合うことを通して、相手の意図や質問の意味を捉え、自分の立場を明確にしながらか、言葉を選んで意見を述べる力を育成できると考える。

また、学年や学校の課題を想起させたり、他教科の学習と関連させたりすることで、課題を自分事として捉え、話し合ったことをもとに実際に活動を進めていくことを通して、達成感を味わったり、新たな活動につなげたりすることができる単元である。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、「きいて、きいて、きいてみよう」の学習で、インタビューをし合い、「聞くこと」を通じてお互いのことを理解し合う学習を行った。また、授業の中でペアやグループで意見交流をしたり、朝の会で30秒スピーチを行ったりするなど、日頃から考えを伝える活動を多く行っているため、自分の考えを話すことや意見を出し合うことに対する抵抗感は少ない児童が多い。9月に実施した意識調査では、「考えを伝え合う活動は好きですか。」という質問に対し、83.4%の児童が肯定的に回答したことから、話す・聞く活動に意欲をもって取り組んでいる児童が多いと言える。しかし、「自分の考えを分かりやすく伝えることができますか。」という質問に対しては、肯定的に回答した児童が73.3%にとどまっており、自分の意見を伝えることはできても、理由や根拠を明確にして分かりやすく話すことに苦手意識を感じている児童が多いと言える。話し合いをしても、友達の意見に対して質問したり、考えを広げたり深めたりすることはできていないことも多く、相手の意見と自分の意見を比較した上で、その場で分かりやすく自分の意見を述べる力に課題があると言える。

### (3) 指導について

本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

資質・能力	手立て
主体性	身近な課題を想起したり、他教科の学習と関連付けたりすることで、学習の見通しを持つとともに、議題を自分事として捉えながら話し合いを進め、実際に活動を行いたいという思いを抱くことができるようにする。
コミュニケーション力	充実した話し合いにしていくために、互いの立場や意図を明確にして、共通点や相違点を確認しながら、条件に沿って話し合うという進め方を共有しておく。また、ワークシートやタブレットを用いることで、意見交流をしやすくしたり、考えを整理したりすることができるようにする。
メタ認知	よりよい話し合いをするために必要なことについて考えながら単元の学習を進め、自分自身の話し合いの仕方について振り返ることを通して、学んだことを今後の活動に活かしていこうとする思いを持つことができるようにする。

## 6 評価規準及びルーブリック

### (1) 評価規準

評価の観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使おうとしている。((2)イ)	互いの立場や意図を明確にしなが ら、計画的に話し合い、考えを広 げたりまとめたりしようとしてい る。(A(1)オ)	学習の見通しをもち、話し合いを 通して考えを広げたりまとめたり する活動に、主体的に取り組 もうとしている。

### (2) ルーブリック

資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
知識・ 技能	メタ認知	話し合いの過程を振り返ること で、よりよい話し合いの仕方につ いて気付くことができる。	話し合いの過程を振り返り、うまくい ったことや難しかったことを出し合う ことで、よりよい話し合いの仕方に気付 き、学んだことを今後に生かしてい こうとする思いをもつことができる。
思考・ 判断・ 表現	コミュニケー ション力	立場や意図を明確にして自分 の考えを伝えたり、話し合っ たりすることができる。	立場や意図を明確にして、分かりや すく自分の考えを伝えたり、共通点や 相違点を確認しながら話し合っ たりすることで考えを広げたり深めたり することができる。
主体的 に学習 に取り組 む態 度	主体性	海田町の食文化をより多くの 人に知ってもらうためにはどう したらよいか、自分の考えをも って話し合うことができる。	活動の見通しをもち、海田町の食文 化をより多くの人に知ってもらうた めにはどうしたらよいか、自分の考え をもち、進んで話し合うことができる。

7 指導と評価の計画（全7時間）

次	時	学習内容	評価			
			知	思	主	評価規準・評価方法等
一	1	・これまでの話し合いの様子を振り返り課題意識をもつ。			○	〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・これまでの話し合いの様子を想起し、立場や意図を明確にした話し合いに向けて課題意識をもっている。 (振り返りシート, 行動観察)
	2	・学習計画を立て, 議題を決める。			○	〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・学習課題を捉え, 学習計画を立てようとしている。 (振り返りシート, 行動観察)
二	3	・議題に対する自分の考えを整理する。		○		〔思考・判断・表現〕A(1)ア ・これまでの学習や自身の経験をもとに考えたことを, 分類したり関係付けたりして, 伝える内容を検討している。(ワークシート, 行動観察)
	4	・話し合いの仕方を確かめ, 進行計画を立てる。	○			〔知識・技能〕(2)イ ・動画資料や教科書の例をもとに, 互いの立場や意図を明確にして話し合う方法を捉えている。 (振り返りシート・行動観察)
	5	・計画に沿って, グループで話し合いを行う。		○		〔知識・技能〕(2)イ ・考えた解決方法について, 計画に沿って座標軸を用いながら話し合いをしている。 (ワークシート・行動観察)
	6 本時	・前回の話し合いの振り返りを活かして, 再度別の議題で話し合いをする。		○		〔思考・判断・表現〕A(1)オ ・理由を伝えたり質問をしたりしながら, 計画に沿って話し合い, 考えを広げたりまとめたりしている。 (ワークシート・行動観察)
三	7	・学習を振り返り, よりよい話し合いの仕方について, 今後の学習にも生かせるようにまとめる。		○	○	〔思考・判断・表現〕A(1)オ ・話し合いの内容を振り返り, 立場や意図を明確にして話し合うときに大切なことを押さえている。 (ワークシート・行動観察) 〔主体的に学習に取り組む態度〕 ・立場や意図を明確にした話し合いについて単元全体を振り返って考えをまとめ, 今後の学習に生かそうとしている。 (振り返りシート・行動観察)

8 本時の展開

本時の目標 互いの立場や意図を明確にしながら計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準(評価方法)
1 前時の振り返りを行い、本時のめあてを考える。	○前時の児童の振り返りを活用し、本時のめあてを考える。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>めあて</b> 立場や意図をはっきりさせて話し合い、考えを広げたりまとめたりしよう。         </div>		
2 話し合いの仕方や観点を確かめる。	○これまでにまとめた話し合いの観点を復習し、実際の話合いで使うイメージをもたせる。	理由を伝えたり質問をしたりしながら、計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(ワークシート・行動観察)
3 考えを広げる話し合いをする。	○進行計画に沿って、グループごとに話し合いをさせる。 ○ジャムボードを用いて意見を出し合うことができるようにする。 ○話し合いが進まないグループには、前時までに確かめた話し合いの仕方を想起させたり、司会者に助言したりする。	
4 考えをまとめる話し合いをする。	○たがいの共通点やことなる点をはっきりさせたり、目的に合うかどうか検討したりしながら、グループごとに考えをまとめさせる。	
5 全体交流をし、本時の学習をまとめる。	○グループごとにまとめた意見や考えを発表させる。その際、どのように考えをまとめていったのか話し合いの経緯を説明させる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>まとめ</b> 立場をはっきりさせて話し合ったり、質問をしたりすると相手の考えをくわしく知ることができる。まとめるときには、それぞれの立場の共通点や相違点を見付け、目的を意識してまとめるとよい。         </div>		
6 本時の学習を振り返る。	○話し合いを通して、良かった点や難しかった点、改善点などをもとに視点を選択させて振り返らせる。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ホップ:学習して分かったこと。できるようになったこと。            ステップ:まねしたい考えや方法。            ジャンプ:学ぶ前との変化。どう生活に生かすか。         </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの話し合いでは質問ができなかったけれど、今日の話合いでは質問をして、友達がどうしてそのような意見をもったのかをくわしく知ることができました。</li> <li>・考えをまとめるときは、似ているものをまとめたり、違いに注目したりするとよいとわかりました。話し合いのとき、友達が共通点を探してまとめていたのでよい方法だと思いました。他の話し合いで使ってみたいです。</li> </ul> </div>		

立場や意図を明確にして話し合おう

↳5C達成に向けて、今自分たちにできること

めあて

立場や意図をはっきりさせて話し合い、  
考えを広げたりまとめたりしよう。

〈話し合いで使うとよいフレーズ〉

- ・ 具体的に言うと
- ・ 例えば
- ・ 原因は
- ・ つまり
- ・ どうして
- ・ どのようにして
- ・ どちらが
- ・ 賛成／反対
- ・ 確かに

〈意見をまとめるときのポイント〉

- ・ 同じところがうところ
- ・ にているものどうし
- ・ 目的に合わせて
- ・ より伝わる方法

立場をはっきりさせて話し合ったり、質問をしたりすると相手の考えをくわしく知ることができる。  
まとめるときには、それぞれの立場の共通点や相違点を見付け、目的を意識してまとめるとよい。

振り返り